

佐伯啓思著「学問の力(Ⅱ)」ちくま文庫、筑摩書房 2014年12月10日刊を読む

### Ⅲ 「わかる」と「知る」の違い—ここで考える—

- 「わかる」ということは、「知る」ということと違います
  - ・「知る」ということは、「文字情報を使って何かを頭の中にインプット」すること。ですから、本を読んだり、人と話したりして「知る」ことはできます
  - ・しかし、本当の意味で「わかる」ということは、「何か、思考のプロセスを自分で追体験することで、つまり自分の頭で考える」ということ。「自分で、自分なりに再構成する」こと
- 例えば、「数学」がよい例です
  - ・数学は、本を読めば定理の証明が書いてあるわけですから、順番に読んでいけば、論理的に理解できます。一応、「知る」ことはできるわけですが
  - ・しかし、それについて(大学生などに)講義しろと言われると、数学者は別としてわれわれには難しい。つまり、知っているものを再構成できるかどうか重要で、「わかっていないと再構成できない」わけですが
  - ・数学の定理を「知る」ことはできますが、その意味を「わかる」ことは、数学者でなければできないのです
- 社会科学にも似たようなことがあります
  - ・何となく自分では知った気になっていることを講義でしゃべってみると、途中でわけがわからなくなったりすることがあります
  - ・途中で詰まってしまっても、もう一度戻って即興で話すことができれば、そのことがわかったことになる。つまり、自分で再構成できるということです
- 「わかる」ためには、自分で講義を試みる、それも、できれば講義ノートなど持たずに、ただ手ぶらでしゃべってみるということは重要です
- 再構成できるようになるには何が必要か
  - ・たえず潜在的にそのことを考えていること
  - ・ただ本を読んで理解して頭に入っているのではなくて、首から下の部分のどこかにとどまっている。「腑に落ちる」という感覚です。頭ではなく、「こころ」ととどまっていなければなりません
  - ・別に意識はしていないけれど、どこかでそのことを考えている。「頭で考える」のが意識的だとすれば、「こころで考える」のは無意識の思考です
  - ・「知識として勉強」することだけではなくて、「腑に落ちて」こなければ駄目なわけです
  - ・「腑に落ちている」ものが、自分の知らない間に勝手に何か物事を考えている。頭で考えているのではなく、象徴的な意味ですが、臓器が自動的に何かを考えている
  - ・それがうまくいってくると、何かの加減で表面に出てきたり、たとえば、講義で変な方向に行ってしまったときに修正がきく。そういうことは極めて重要なことです

#### IV 「頭がよい」とはどういうことか

##### ○「頭がよい」には2つある

###### ①・何でも情報としてインプットされ、その容量がやたら大きい

- ・物事の要点をさっと整理できる
- ・人の言っていることをすばやく理解できる

↳ 以上は 

┌	└	脳 <sup>の</sup> 運動神経がよい
		脳 <sup>の</sup> 神経伝達が速い

###### ②・ものすごく鈍くて勘も悪く、いわゆる鈍重という感じだが『頭がよい』といえる人がいる (アインシュタイン)

- ・「潜在的なところでいつも何かを考える力」があった
- ・自分の意識しないうちに臓器が勝手に何かを考えている、そういう人は、読んでいる本の量は少なくても、情報量が少なくても、何らかの加減で何かを生み出すことができる
- ・そして、自分の専門外のことに關しても案外といろいろな問題に対して、素朴だけれども的確な反応をするもの
- ・アインシュタインは、早い段階で原子力の危険に対して敏感になっていた。決して「専門バカ」ではない

##### ○頭がよいには2種類ある

- ・1つは、「脳の神経伝達速度が速い」という「脳の物理的運動速度の優秀さ」
- ・もう1つは、そういう能力に関しては鈍いけれども、「何か潜在意識の中で物事を考えている持続力」みたいなものがある。これが、もう1つの「頭のよさ」

↳ これは「訓練」によるところが大きい。その気になって「訓練すればある程度は何とかなる

○この「本当の意味」の「頭のよさ」は、学校教育の中にあっては、余り表面化しません。試験の成績も余りよくない、もの覚えも悪いし、流行の思想や新しい考えに対しても反応は鈍い→ですから、このタイプの人には、「自分は頭が悪い」というコンプレックスを持っている。しかしそれでいい。「頭が悪い」というコンプレックスを持っている人はそれだからこそ、一生懸命努力して、多種多様な本を読んでみたりして、その中で自分の感性に合うものを取り出そうとする。あまり時代の表層の動きに左右されないで、時間をかけて志向を持続させることができる